

肥料を製造するにあたって使用された原料を特定したり、肥料の品質を低下させるような異物が混ざっていないか確認します。

主な肥料の鑑定手法

その
1



試料

ふるい分け

肉眼・実体顕微鏡観察

- 原料の大きさごとにふるい分けます。
- 大きさごとに分離されているので、観察しやすくなります。
- 原料の形状や色調、光沢を観察します。また、異物の混入等を観察します。

その
2

試料

酸・アルカリ処理

顕微鏡観察

- 肉眼等で見分けられないときに行います。
- 酸で処理すると、無機質肥料や骨等を溶解除去することができ、観察しやすくなります。
- アルカリで処理すると、動物質のものは溶解します。また、植物の細胞や組織の形状や色状が見えやすくなります。